

社内広報担当向け 社内広報実践型 ワークショップ

～これからの社内コミュニケーションを学ぶ～

スケジュール

(※各セッション単位でのご参加も可能です。)



第1回 ▶ 2016年11月21日(月) 13:00～17:00

「ゼロから学ぶ『共感を呼び行動を喚起する

社内報の作り方』」

講師：株式会社ソフィア 瀬尾 真理子氏、株式会社ソフィア 廣井 和幸氏

第2回 ▶ 2016年11月28日(月) 13:00～17:00

「今、グローバルで共有すべきことは何か？

経営課題からコンテンツを考える」

講師：株式会社ソフィア 平井 豊康氏、株式会社ソフィア 廣田 拓也氏

第3回 ▶ 2016年12月12日(月) 13:00～17:00

「動画で組織の閉塞感を打破する」

講師：株式会社ソフィア 池田 勝彦氏

2016年11月21日(月) 13:00~17:00

第1回

会社を元気にする『社内報』とは？

ゼロから学ぶ「共感を呼び行動を喚起する社内報の作り方」実践ワークショップ

講師

瀬尾 真理子氏、廣井 和幸氏

1. そもそも社内報って何ですか？

- (1)社内コミュニケーションのフレームワーク
- (2)紙の社内報が必要なわけ

2. 社内報はどうやって作る？

- (1)社内広報の設計は「Why？」から始まる
- (2)年間計画で目標とバランスを確認
- (3)企画は「狙い」と「仮説」が肝要
- (4)取材の成否は段取りで決まる
- (5)原稿作成と校正では原点を忘れずに

3. 社内報担当者の悩みとは？

(解決のヒントとケーススタディー)

- (1)制作するのに時間がかかる（制作フロー）
- (2)いつも同じテーマ。マンネリ化している（企画力、デザイン力）
- (3)本当に社員に読んでもらえているのか？（効果測定、年間編集会議などの枠組み）
- (4)社内の情報が集まらない、取材調整が大変（社内体制）
- (5)担当者のスキルが向上しない、モチベーションが上がらない

4. 実践ワークショップ

「人物紹介記事をつくってみよう」

このワークショップでは、セミナー参加者同士が相互にインタビューを行い、相手を紹介する記事を実際に作成してもらいます。

- (1)インタビュー術
- (2)「伝わる」「動かす」表現方法

5. 社内報の未来

- (1)紙の社内報はなくなるのか？
- (2)これからの社内報担当者の役割とは？

2016年11月28日(月) 13:00~17:00

第2回

今、グローバルで共有すべきことは何か？ 経営課題からコンテンツを考える

講師

平井 豊康氏、廣田 拓也氏

1. インナーコミュニケーションのフレームワークを学ぶ
2. グローバル事例からフレームワークを理解する
3. 自社の課題と発信すべきコンテンツを企画する
4. 共有と振り返り

■概要

本セミナーでは、前半に座学形式でインナーコミュニケーションのフレームワークとグローバルコミュニケーション事例を学びます。

後半では、ワークシートを活用して、自社の課題と発信すべきコンテンツのテーマを絞り込みコンテンツ企画まで落とし込むワークを講師陣がファシリテーションしていきます。

グローバル社内広報における自社の課題とインナーコミュニケーションの観点からなすべきことを考えられるようになることをゴールとしています。

■ワークの内容

ワークでは、以下のような項目を掲載したチェックシートを配布して各自が自社での課題と発信すべきコンテンツのテーマを絞り込めるようにしていきます。

また、テーマを絞り込んだのちに、コミュニケーションルートやメディアを想定してコンテンツの企画を進めていけるよう講師陣がファシリテーションしていきます。

- ・ガバナンスはどのような状況、体制か？
- ・ICの観点から見てあるべき組織の姿と現在の状態は？
- ・現在グローバルに活用できるメディアの有無は？
- ・だれに何を伝えることが最優先か？
- ・その際のベストなコミュニケーションルートは？

2016年12月12日(月) 13:00~17:00

第3回

動画で組織の閉塞感を打破する

講師

池田 勝彦氏

第一章：概論編

1. 動画を生かした組織の課題解決

- ・手法としての動画の特性
- ・動画が活用できる組織課題（事例検討）
 - 理念、Way、方針の浸透
 - 組織の強みの共有、存在意義の確認
 - ニュースリリース配信
 - イベント効果の向上
 - 一体感の醸成
 - グローバル異文化コミュニケーション
 - CS、品質向上

2. 動画活用における留意点

- ・動画活用の3つのハードル
 - 社内インフラの制約
 - コストの制約
 - スピードの制約
- ・内製化でハードルを越える

第二章：実践編

1. 動画制作に必要な技術

- ・シナリオ構成・表現方法
 - 動画構成のパターン
- ・撮影の事前準備
- ・撮影のテクニック
 - 構成がしっかりしていれば撮影で困らない
 - 被写体のサイズ、カメラの動きには意味がある
 - プロとアマチュアの差はここに出る
- ・編集のテクニック
 - 構成がしっかりしていれば編集で困らない
 - 基本はFixで4秒以上、トランジション効果は多用しない
 - 映像と音声は切り離して編集を考える
- ・必要な機材
 - パソコンだけでどこまでできる？
 - これだけは揃えたい機材

2. ビデオニュースを作る（実習）

- ・参加者の皆さんで実際にビデオニュースを作ります

会場案内

●企業研究会セミナールーム(東京：麹町)

〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-7-2 麹町 M-SQUARE 2F TEL : 03-5215-3511

参加要項

本セミナーは各セッション単位の選択申し込みが可能です。
複数のセッションをご受講の際は、下記の通り割引料金となります。お申し込みの際には、申込書のご受講を希望されるセッション開催日に、チェックをご記入下さい。

受講料 (1名・消費税込)

- ◆1日のみ受講……………正会員／34,560円 (本体価格：32,000円)
— 一般／37,800円 (本体価格：35,000円)
- ◆2日間受講……………正会員／64,800円 (本体価格：60,000円)
— 一般／71,280円 (本体価格：66,000円)
- ◆3日間受講……………正会員／81,000円 (本体価格：75,000円)
— 一般／88,560円 (本体価格：82,000円)

※会員企業一覧は当会ホームページにてご確認頂けます。 <https://www.bri.or.jp>

※主担当者様のお名前でお申し込みの上、各回、代理出席も可能です。但し、割引料金の適用は一度にお申し込みの場合に限ります。

申込方法

下記申込書に所定事項、及び、ご受講希望セッションをご記入の上、FAXにてお送りいただくか、下記担当者宛 Eメールにてご連絡下さい。また、当会ホームページからもお申し込み頂けます。(Eメールでお申し込みの際には、希望セッションを明記願います。)

お申し込み・お問い合わせ先

〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 麹町M-SQUARE 2F

TEL : 03-5215-3514 FAX : 03-5215-0951 E-mail : tamiaki@bri.or.jp

一般社団法人 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当：民秋(たみあき)・川守田(かわもりた)

※着信確認のご連絡後、後日(開催日一週間～10日前まで)に受講票・請求書をお送りします。

※よくあるご質問(FAQ)は当会ホームページにてご確認いただけます。([TOP] → [公開セミナー] → [よくある質問])

※お申し込み後のキャンセルはお受けしかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理の方のご出席をお願い致します。

※最小催行人数に満たない場合、中止とさせて頂くこともございますので、ご了承ください。

申込書

FAX:03-5215-0951

事業コード:161650-0404 (※)

社内広報担当向け 社内広報実践型ワークショップ

会社名	会社所在地 〒 -		
氏名(フリガナ)	所属・役職名	Tel	
		Fax	
E-mail			
受講希望セッション(必ず✓をご記入下さい)			
選択受講 /	<input type="checkbox"/> 第1回▶ □ : 11/21(月)	<input type="checkbox"/> 第2回▶ □ : 11/28(月)	<input type="checkbox"/> 第3回▶ □ : 12/12(月)

ご記入いただいた個人情報は、本セミナーに関する確認、連絡、及び、当会主催セミナー等のご案内に利用させていただきます。